

# ユニバーサルデザイン論

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：ユニバーサルデザインを生み出す背景となった現代社会の高齢化、IT化に伴う社会システムの複雑化の現状等を理解した上で、ユニバーサルデザイン開発方法論について学習する。障がい者や機能の低下した高齢者のみならず多様性を持つ健常者の心身特性や生活実態を理解し、すべての製品・システム・サービスが具備すべき特性とそれを実現するためのプロセスや方法論について事例を交えて学習する。

■**到達目標**：①ユニバーサルデザインの理念や対象となるユーザーの特性を理解する。  
②ユニバーサルデザイン開発に必要な評価基準や方法論の基礎を習得する。

■**担当教員**：

酒井 正幸

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ユニバーサルデザインの背景
- 第2回 ユニバーサルデザインの基本理念
- 第3回 ユニバーサルデザインで配慮すべき3側面
- 第4回 多様なユーザー特性（障がい者）
- 第5回 多様なユーザー特性（健常者）
- 第6回 ユニバーサルデザイン関連法規・規格
- 第7回 ユーザビリティ評価
- 第8回 ユニバーサルデザイン開発事例
- 第9回 アフォーダンス
- 第10回 ピクトグラムとメタファー
- 第11回 情報の手かかり
- 第12回 ユニバーサルデザイン評価演習
- 第13回 ユニバーサルデザイン開発の現状（特別講師）
- 第14回 マーケティングとユニバーサルデザイン
- 第15回 総復習

■**教科書**：なし

■**参考文献**：講義の中で適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：演習レポート（70%）、小課題（20%）、授業態度（10%）

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
小課題	○	◎	評価基準や方法論を理解していること	20
演習レポート	◎	○	基本理念や対象となるユーザーの特性を理解していること	70
授業態度	○	○	積極的な姿勢	10
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：教科書を使用しないため、学習内容の要点を要領よくメモするよう習慣づけてほしい。